

亶理町立郷土資料館年報

第 2 2 号
(令和元年度)



悠里館と桜

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地

電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709

E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年10月に開館した亶理町立郷土資料館は、令和元年度で25周年を迎えました。今年度は、5月1日に第125代明仁天皇の退位及び第126代徳仁天皇の即位により、「平成」から「令和」への改元が行われ、亶理伊達家としては北海道移住150年の節目の年でもありました。

郷土資料館は開館25周年を迎えるにあたり、今後より多くの方々に展示をご覧いただくために、4月1日から常設展示の観覧料を無料としました。お出かけの際に皆様が気軽に立ち寄られる施設として、例年より大変多くの皆様にご来館していただきました。

郷土資料館の広報紙である「郷土しりょうかん」では、亶理伊達家の北海道移住150年を記念し、『海を渡った侍たち～亶理伊達家の北海道移住から150年～』を全6回のシリーズで掲載しました。江戸時代に亶理を治めていた亶理伊達家がなぜ明治維新後に北海道に移住しなければならなかったのかをひもときました。

宮城県指定文化財「伊達成実霊屋」は年に2回御開帳を行っており、8月の御開帳の際には、奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実様と茂庭綱元様による案内会も行われました。また、資料館観覧と併せたスタンプラリーを開催し、多くの方々にご参加いただきました。

9月には町史編纂委員会によって編纂が進められてきた「亶理町史民俗編」が刊行されました。これを記念した秋のテーマ展『写真でみる亶理の民俗』を開催し、写真をとおして亶理の多様な民俗を知る機会としました。

郷土資料館では、亶理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、令和元年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和2年7月

亶理町立郷土資料館

館長 齋 藤 伸

目 次

1	令和元年度の主な事業と活動	1
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	2
	〔2〕 事務分掌	2
3	展示	
	〔1〕 常設展示	3
	〔2〕 テーマ展示	3
	〔3〕 収蔵資料展示	6
4	教育・普及	
	〔1〕 講座等	6
	〔2〕 学社融合推進事業	8
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	9
	〔4〕 オープンミュージアム	9
	〔5〕 学校教育関連	10
	〔6〕 刊行物等	10
	〔7〕 博物館実習	11
	〔8〕 その他	11
5	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	12
	〔2〕 寄託資料	13
	〔3〕 常設展示借用資料	13
	〔4〕 資料貸出	13
6	観覧者数の推移	
	〔1〕 令和元年度月別観覧者数	14
	〔2〕 年度別観覧者数	15
7	予算	15
8	職員名簿	15
9	利用案内	16

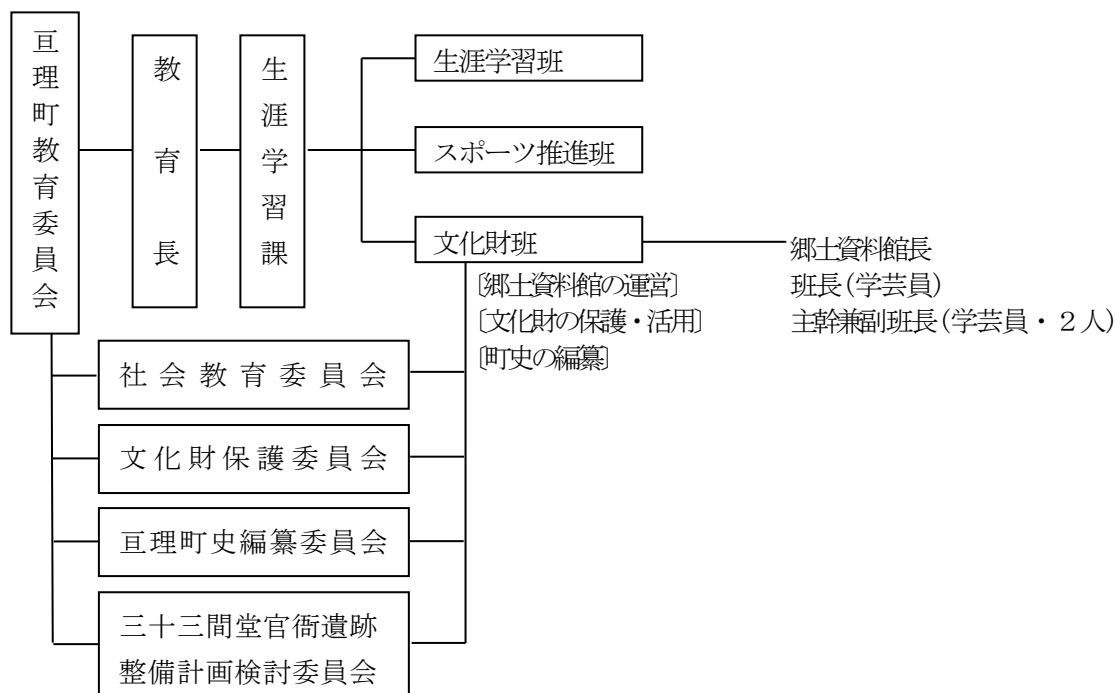
1 令和元年度の主な事業と活動

H3	1.	4	広報紙「郷土しりょうかん」第146号発行
		4/27～5/5	ゴールデンウィーク特別開館事業
		4/27～6/23	第22回収蔵資料展
R	1.	5/21	宮城県南資料館等連絡協議会総会(角田市)
		6	広報紙「郷土しりょうかん」第147号発行
		6/7	宮城県博物館等連絡協議会総会・第1回研修会(多賀城市)
		7/20～8/25	夏休みちょこっと体験
		7/23～8/25	夏のテーマ展「亙理伊達家の資料～館蔵資料の公開～」
		8	広報紙「郷土しりょうかん」第148号発行
		8/13～17	博物館実務実習
		8/16	「伊達成実霊屋」御開帳
		8/17	夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」
		10	広報紙「郷土しりょうかん」第149号発行
		10/9	宮城県南資料館等連絡協議会第1回役員会(七ヶ宿町)
		10/12～11/24	『亙理町史 民俗編』刊行記念展「写真でみる亙理の民俗」
		10/17	学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
		10/26	郷土資料館町民講座『ものしり大学院』
			「海を渡った亙理伊達家中の文書―史料の所在が語る亙理伊達家の北海道移住―」
		11/3	文化の日特別開館「オープンミュージアム」
		11/27	学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(亙理小学校)
		12	広報紙「郷土しりょうかん」第150号発行
2.		1/16	「伊達成実霊屋」御開帳
		1/21	学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
		2	広報紙「郷土しりょうかん」第151号発行
		2/4 ～5	年中行事講座「お雛様づくり体験会！」(亙理町シルバー人材センター共催)
		2/7 ～3/1	亙理伊達家雛人形公開とつるし雛展
		2/15～3/1	春のテーマ展「めでた掛けと宝船―江戸家被災資料から―」
		3/3 ～	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
		3/4	宮城県博物館等連絡協議会第2回研修会(多賀城市)※中止
		3/10	宮城県南資料館等連絡協議会担当者研修会(七ヶ宿町)※中止
		3/10	宮城県南資料館等連絡協議会第2回役員会(七ヶ宿町)※中止

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

平成31年4月1日現在

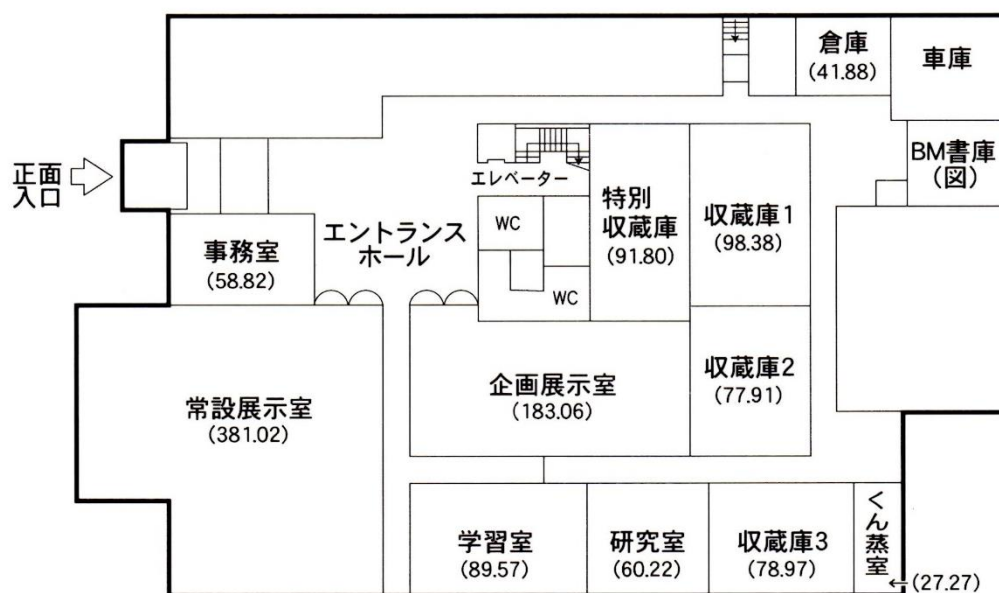


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

……………管理運営・公印管理・文書の収受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

郷土資料館は開館25年目を迎えるにあたり、今後より多くの方々に展示をご覧いただくため、平成31年4月2日から観覧料を無料とした。また、令和元年11月26日から照明のLED化工事のため、年内臨時休館とし、令和2年1月5日から開館した。以前より明るくなり、細かい文字などが見やすくなった。

亙理伊達家雛人形公開・つるし雛展

期 間 令和2年2月7日(金)～3月1日(日)
開館日数 19日
会 場 常設展示室、悠里館2階エントランスホール、企画展示室
観覧者数 684人(常設展示のみの人数)

【展示内容】

◎常設展示室(亙理伊達コーナー)

石川家伝来亙理伊達家古今雛一对、婚礼調度品6点

◎悠里館2階エントランスホール(カフェ♡悠里前等)

7本輪飾り15本(布あそびサークルはまなす作製)、
傘福5本(織縹会那智が丘ちりめんサークル指導者作製)

◎企画展示室(出入口)

3本輪飾り6本(つるし雛作り体験!教室作製)



▲つるし雛7本輪飾り

〔2〕 テーマ展示

夏のテーマ展「亙理伊達家の資料～館蔵資料の公開～」

期 間 令和元年7月23日(火)～8月25日(日)
開館日数 28日
会 場 企画展示室
観覧者数 830人 1日平均30人

【趣 旨】

郷土資料館では、「亙理伊達家の資料」を重点的に収集している。 ▲伊達成実書状

これまで収蔵してきた120点を超える資料の中から厳選した59点に加え、亙理伊達家の北海道移住150年の節目の年を記念すべく新着資料2点を展示した。

ほとんどの資料が年に一度の公開であり、令和元年度は6つのコーナーに分けて展示した。

【展示内容】

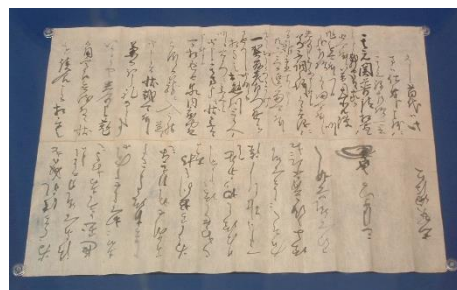
◎「亙理伊達家当主と伊達政宗」コーナー

伊達政宗と亙理伊達家の関わりについて、解説と資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達政宗書状2点(成実宛、宗実宛)、伊達成実書状2点(志賀備後宛、牛坂左助宛)ほか

◎「亙理伊達家の衣食住に関する資料」コーナー

14代領主伊達邦成の義母である貞操院(仙台藩主伊達慶邦の妹)の資料と伊達市から寄贈された亙理伊達家の調度品などを展示した。



▲伊達成実書状

展示資料(実物)…夜着、手鏡、筥迫、食器類、道中湯沸しほか

◎「亙理伊達家当主の資料」コーナー

郷土資料館で所持している亙理伊達家当主たちの資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達宗氏書状、伊達邦成和歌短冊ほか

◎「新着資料」コーナー

今年新たに保管した資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達政宗書状(成実宛)、

紫地流水松竹柳四季花散らし文様振袖

◎「戊辰戦争と亙理伊達家の北海道移住」コーナー

郷土資料館で所持している北海道移住に関する資料を展示した。

展示資料(実物)…伊達邦成肖像、小野潭画「有珠湾のにぎわい」ほか2点、仙台藩戊辰史ほか

◎「亙理伊達家の武具類ー弓・鉄砲ー」コーナー

亙理伊達家家臣が着用した甲冑、亙理伊達家及び家臣が所持していた刀剣、武具類を展示した。

展示資料(実物)…黒漆五枚胴具足、武田家寄託刀剣ほか3点、矢籠、胴乱ほか



▲火縄銃(上)と三引両紋胴乱(下)

秋のテーマ展「写真でみる亙理の民俗」

期 間 令和元年10月12日(土)～11月24日(日)

開館日数 34日

会 場 企画展示室

観覧者数 746人 1日平均22人

【趣 旨】

『亙理町史 民俗編』刊行記念展として開催。掲載写真のうち115枚をパネルにして、全12コーナーに分けて展示し、多様な亙理の民俗を知る機会とした。

【展示内容】主なものは下記のとおり。

◎「衣と暮らし」コーナー

展示物…ジサンモノを縫う、手作りの服を着る親子、針供養、写真にみる衣類の変遷ほか

◎「交通や交易」コーナー

展示物…荒浜・小山の渡し船、常磐線の駅、五十集売りほか

◎「人の一生～誕生から死まで～」コーナー

展示物…初宮参り、七五三、成人式、結婚披露宴、長寿祝いほか

◎「民俗芸能と民謡」コーナー

展示物…亙理町指定無形民俗文化財(亙理獅子舞、牛袋法印神楽、亙理枅取り舞)ほか

◎「口承文芸」コーナー

展示物…湊神社と鮫、河村瑞賢と荒浜港、矢抜き沢、三十三間堂、胴棄山ほか

◎「遊びとわらべうた」コーナー

展示物…竹の皮遊び、いなご捕り、紙芝居を見る子供たち、大縄跳びほか



▲秋のテーマ展 口承文芸コーナー

春のテーマ展「めでた掛けと宝船～江戸家被災資料から～」

期 間 令和2年2月15日(土)～3月1日(日)

開館日数 13日

会 場 企画展示室

観覧者数 461人 1日平均36人

備 考 当初3月15日までの会期であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月3日から臨時休館とした。



▲羽衣の詠(左)と天人迦陵頻伽之図(右)

【趣 旨】

江戸家被災資料の中でも、荒浜江戸家の4代江戸清吉氏(1884-1938)が収集した明治から昭和にかけて活躍した作家、芸術家、政治家など著名人たちの原稿、手紙・はがき、絵画などのことを江戸清吉コレクションといい、現在再評価されている人物の作品もあり、貴重な資料となっている。

これらの資料は、宮城県沖地震(1978年)の際に蔵から発見されて話題となり、その後、東日本大震災(2011年)で多くが被災し、文化財レスキュー活動によって救出され、郷土資料館で保管している。

郷土資料館では、資料の整理・修復を進める一方、研究機関等と連携して調査・研究活動を行っており、平成26年度と28年度には企画展を開催して大きな反響があった。

今回は、めでたいものが描かれた掛軸と縁起物の宝船を展示した。宝船は清吉氏が好んだ竹久夢二のものや子年にちなみねずみが描かれたものなどを展示し、併せて被災した掛軸の修復工程についても紹介した。

【展示内容】

◎コーナー1 めでた掛け

収集した掛軸類には、吉祥を描いためでた掛けもあり、吉祥とされる天人や不老不死の仙人の住む蓬莱、吉祥の象徴である鶴亀や桃源郷が描かれている。

展示物…天人迦陵頻伽之図、蓬莱暁春、春秋双福一春、柳陰帰漁図ほか

◎コーナー2 宝船

大正2年(1913)ころより大阪の趣味人たちによる宝船絵の交換会「浪華宝船会」(頒布会)が行われており、2月3日の節分の日から期間内に会員が頒布所へ赴き、宝船絵と頒布リストに印をもらう形式だった。江戸清吉氏は柳屋の販売目録を兼ねた機関誌『美術と文藝』を通して、短冊を中心に絵はがきや宝船絵、色紙などを蒐集していた。

展示物…竹久夢二宝船・解説書、宝船絵葉書帖

多加良富根(ミッキー宝船・蛸杓子宝船・笹野彫宝船)ほか

◎コーナー3 被災資料の修復～一幅の掛軸がよみがえるまで～

津波によって多くの資料が被災し、これらのなかには修復を行わなければならない資料もあり、早急に処置を施さなければならないものから順次専門の技術者によって修復を実施している。

平成30年度に修復し、今回展示している熊耳耕年筆「天人迦陵頻伽之図」の修復過程を写真で紹介した。

展示物…熊耳耕年筆「天人迦陵頻伽之図」修復前、修復工程



▲様々な趣向が凝らされた「宝船」

〔3〕 収蔵資料展示

「第22回収蔵資料展」

期 間 平成31年4月27日(土)～令和元年6月23日(日)

開館日数 49日

場 所 企画展示室

観覧者数 1,164人 1日平均24人

【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきており、亘理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマやスペースの制限上、公開される機会のない資料が増加した。このため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開し、今回で22回目となる。

【展示内容】

平成28年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は46点。

項 目	点 数	項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	12	競技・娯楽・遊戯	6	社会生活	1
生産・生業	3	人の一生	2	考古資料	1
交通・運輸・通信	2	写真	7	文書・書籍・地図	5
交易	1	軍事・戦争	4	民俗知識	2



▲竹籠花入(上)と竹花入(下)

4 教育・普及

〔1〕 講座等

1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

町内小学校児童を対象に郷土資料を活用して亘理の歴史・文化を理解し、もの作りの体験をとおして先人の知恵にふれて考え、他校児童との交流による仲間作りを目的として開催した。募集は、小学校をとおしてチラシを配付した。

日 時 令和元年8月17日(土)午前10時～12時

会 場 郷土資料館 学習室

参加者 21人

材料費 200円

内 容 亘理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品についての講話後、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



▲集中して「勾玉」を作る子どもたち

2. 年中行事講座「お雛様づくり体験会！」

今年度から(公社)亘理町シルバー人材センターとの共催により、家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるもの作りをとおして、潤いとやすらぎのある暮らしを目指すとともに、製作後のティータイムにおいて受講者相互の親睦を図ることを目的に行った。

日 時 令和2年2月4日(火)～2月5日(水)
午前10時～午後2時30分

講 師 織綴会 那智が丘ちりめんサークル員 3人

場 所 郷土資料館 学習室

受講者 28人

材料費 1,300円

内 容 ひなまつりについての講話後、古布で雛人形を製作した。



▲真剣に「おひなさま」を作る受講生

3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度より開始したこの事業は、毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

今回は亘理伊達家の北海道移住150年を記念した内容の講演を行った。

テーマ 「海を渡った亘理伊達家中の文書―史料の所在が語る亘理伊達家の北海道移住―」

日 時 令和元年10月26日(土) 午後1時30分～3時30分

会 場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

講 師 工藤 航平 氏(東京都公文書館専門員 亘理伊達家文書調査研究会会員)

聴講者 50人

内 容

亘理伊達家中の史料群の所在は、亘理町周辺(有領地)、仙台市(仙台藩)、足利市(郷学日就館の蔵書寄贈)、伊達市周辺(移住地)、札幌市(開拓使)、その他(明治から現在までの個人的移動)と、様々な人・モノの移動によって、北海道・東日本地域へ拡散していった。

また、北海道に残されている史料群は明治以降に全国各地から持ち込まれた「移住持込文書」であり、記述内容はその地域の歴史や文化を語らない「地域に根ざさない」資料となるが、それを伝える「家」や組織を含めた歴史を伝える必要性、また、移住前後の地域をつなぐ歴史や文化を語る史料であるとまとめられた。



▲ものしり大学院 講演の様子

4. 夏休み教育普及事業「郷土資料館ちょこっと体験」

亘理町の歴史に関連した体験や普段は見るだけの展示品にふれることで、子どもたちに昔のくらしぶりや歴史に対する意欲・関心を向上させることを目的として行った。

期 間 令和元年7月20日(土)～8月25日(日)

会 場 常設展示室

◎展示室体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる
- ③切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋の切り絵に挑戦



▲縄文の模様をつける参加者

- ④色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦
- ⑤帳場に座ってみよう：展示資料の帳場に座る
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る
- ⑦回してみよう：ジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう：指定文化財などのパズルに挑戦



▲亘理伊達家歴代墓所のパズルに挑戦

〔2〕 学社融合推進事業

この事業は平成12年度から行っており、町内小学生を対象として、総合学習や社会科の中で亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料にふれ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 出前講座「移動しりょうかん」

「昔の道具とくらし」

実施校：高屋小学校(図工室)

実施日時：令和2年1月21日(火)

午前9時25分～10時10分

参加人数：10人(3年生)

内 容：「炭火アイロンがけ」

「天秤棒を使った桶担ぎ」

「洗濯板を使った洗濯」

などを体験した。



▲洗濯板を使った洗濯を体験する児童

2. 学芸員の派遣

社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校：2校(6クラス)

参加人数：230人



▲亘理用水学習会でジャバラを体験

実施校	月 日	時 間	場 所	参加人数	内 容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	10/17 (木)	10:30 ～12:15	逢隈小学校 体育館	108	・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土背負箱)など用水を作ったときの道具やジャバラなど農作業の道具を展示した。
亘理小学校 4年生 (3クラス)	11/27 (水)	10:30 ～12:00	亘理小学校 体育館	122	・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。

3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室平成26年9月1日再開

〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。連休中の観光スポットの一つとして、家族連れの来館が多く見受けられた。

日 時 平成31年4月27日(土)～令和元年5月5日(日)

観覧者数 480人 1日平均60人

内 容

◎企画展示室内に手作り兜の試着コーナー・遊び体験コーナー

手作り兜3頭の試着とだるま落とし、けん玉、コマなどの昔ながらの遊びを体験するコーナーを設置した。

◎常設展示室内に体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる
- ③色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦
- ④切絵に挑戦してみよう：しげざねくんの切絵と兜作りに挑戦
- ⑤回してみよう：ジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す など



▲兜を試着して決めポーズ

〔4〕 「オープンミュージアム」

亘理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、昔のおもちゃなどを体験するコーナーを設けたほか、クイズの正解者にはオリジナル缶バッジをプレゼントした。また、郷土芸能演舞会の牛袋法印神楽、亘理枅取り舞の披露をエントランスホール特設ステージで行った。

日 時 令和元年11月3日(日・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設・企画展示室、エントランスホール)

観覧者数 常設展示…182人 企画展示…100人

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホール特設ステージにおいて、亘理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亘理枅取り舞」を披露した。

牛袋法印神楽は全12幕のうち「天狗舞」のDVDを上映し、亘理枅取り舞は全10番のうち1・2・3番を演じ、その後、宝銭、紅白餅まきを行った。また、同じく町指定無形民俗文化財の「亘理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。

◎クイズチャレンジ

常設展示室の内容のクイズにチャレンジし、全問正解した方にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。



▲観覧者の子どもと一緒に披露

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①ぬり絵をやってみよう
- ②紋切り(切り紙)をやってみよう
- ③土器にさわってみよう
- ④昔のテレビゲームに挑戦しよう
- ⑤昔の遊びをやってみよう など



▲「巨理獅子舞」の獅子装束展示

〔5〕 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を小学6年生(10クラス300人)と教職員18人が郷土資料館職員の解説を聞きながら見学した。



▲文化財めぐり「三十三間堂官衙遺跡」



▲郷土資料館見学(企画展示室の様子)

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
巨理小学校	3	124	6月5日、6日、7日
荒浜小学校	1	19	5月9日
吉田小学校	1	16	5月8日
長瀬小学校	1	42	5月29日
逢隈小学校	3	104	5月15日、16日、17日
高屋小学校	1	13	5月30日

2. その他

来館日	来 館 者	来館者数	来 館 目 的
6. 1 1	尚絅学院大学 3年生	45	博物館見学実習(学芸員資格取得希望者)

〔6〕 刊行物等

『郷土しりょうかん』第146号～第151号
 広報紙としてA4判4ページ(A3判二つ折)を偶数月に発行。

〔7〕 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月13日(火)～8月17日(土)の5日間

実習生 東北学院大学文学部歴史学科3年生2人

実習内容 1日目：ガイダンス、施設の概要説明・見学、
庶務管理及び運営について(講話)、
文化財について(講話・史跡めぐり)

2日目：資料の保管について(講話・作業)

3日目：埋蔵文化財について(講話・作業)

4日目：窓口業務、文化財の保護と活用の実際(伊達成実霊屋御開帳従事)

5日目：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営補助など)、実習のまとめ



▲実習生による講座の運営補助

〔8〕 その他

1. 講師派遣

◎亘理郷土史研究会地区懇談会

5月22日(水) 亘理町中央公民館 視聴覚室

講師：主幹 鈴木朋子 「史跡三十三間堂官衙遺跡からみる文化財の保存と活用」の講話

◎亘理町シルバー人材センター

8月8日(木)

講師：主幹 鈴木朋子 「町内文化財めぐり」

◎歴史探訪クラブ

9月19日(木)

講師：主幹 鈴木朋子 「町内史跡ガイド」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

10月11日(金)

講師：主幹 鈴木朋子 「亘理の歴史ことはじめ」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

11月 8日(金)

講師：班長 武田恵美 「暮らしの記録—写真に見る亘理の民俗—」

◎公益財団法人 新宿未来創造財団 漱石山房記念館 特別展記念講演会

11月10日(日)

講師：主幹 鈴木朋子 「東日本大震災後の亘理町立郷土資料館の活動と展望」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

11月29日(金)

講師：主幹 鈴木朋子 「町内の文化財めぐり」

◎吉田公民館事業「歴史探訪講座」

令和2年 1月10日(金)

講師：班長 武田恵美 「身近の歴史を写真からひもとく」

※ ほかに文化財見学案内多数

2. 視察研修等の受入れ

◎東京都新宿区副区長表敬訪問町内視察	7月22日(月)	3人
◎宮城県文化財友の会視察研修	10月20日(金)	52人
◎多賀城市統計調査協議会団体視察	11月12日(火)	20人
◎北海道伊達市立光陵中学校事前視察	11月24日(日)	2人
◎公開フォーラム被災地と史料をつなぐⅡ	令和2年2月28日(金)	30人
※ ほかに団体視察研修等多数		

5 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の()内の数字は令和元年度新規収蔵資料

(1) 考古資料：117点(1)点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,846(87)品目 13,507(265)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料：1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～令和元年度)の収蔵資料：3,816品目 11,725点

《平成6～令和元年度収蔵資料分類内訳》

分類項目	点 数	分類項目	点 数	分類項目	点 数
1 衣・食・住	1,590	7 民俗知識	1,732	12 亙理伊達家・家中	140
2 生産・生業	832	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	378
3 交通・運輸・通信	344	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,544	14 文書・書籍・地図	1,131
4 交易	2,087	9 人の一生	154	15 美術	737
5 社会生活	718	10 年中行事	155	16 その他	68
6 信仰	104	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 547(1)品目 1,142(1)点

写真：493品目831点 映像・音声：15品目269点(1) 絵・図：39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

(5) 教育普及用 4点

2. 寄贈資料

14人 92品目 270点

No.	寄贈者名	地 区	主 な 資 料 名	品 目	点 数
1	石田 定克	亙理町(北鹿島)	小作証関係書類	61	221
2	東 常太郎	亙理町(あぶくま)	紙甲冑	1	1
3	武田 和雄	亙理町(南城東)	竹筒、尺八 ほか	5	7
4	八巻 興一	亙理町(今泉)	縄文土器、古銭 ほか	11	16
5	佐伯 博	仙台市	甲冑	1	1
6	熊谷 主夫	仙台市	レコード	1	3
7	齋 清文	亙理町(早川)	茶箱	1	1
8	菊池 敦子	亙理町(上町北)	書籍『鎮魂』	1	1

9	水野 孝一	仙台市	オリンピックポスター(タブロイド判)	1	2
10	菊地 義昭	亶理町(森房)	帆掛舟模型	1	1
11	鈴木 光範	亶理町(柴町)	書籍『宮城の研究』	1	8
12	菊池 優喜	亶理町(下茨田北)	札幌オリンピック冬季大会記念品	1	1
13	大堀 邦子	北海道伊達市	着物、羽織、袴	3	4
14	個人		人生ゲーム、黒ひげ危機一髪、トランプ	3	3

〔2〕 寄託資料

亶理忠儀記(亶理町指定文化財)

上町 菊地家 所蔵

伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点

武田斐子・信一 氏 所蔵

額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点

岡元継男 氏 所蔵

脇差1点・刀1点

東條勝雄 氏 所蔵

刀2点

武者 司 氏 所蔵

幣帛覚帳3点・取子人名記1点

陰山俊明 氏 所蔵

享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点

山形正志 氏 所蔵

近世年代早見記(清野日記)

清野武司 氏 所蔵

伊達政宗書状 五郎(伊達成実)宛て

個 人 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資 料 名	所有者名	数 量	借用期間	借 用 理 由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亶理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

12件 356点

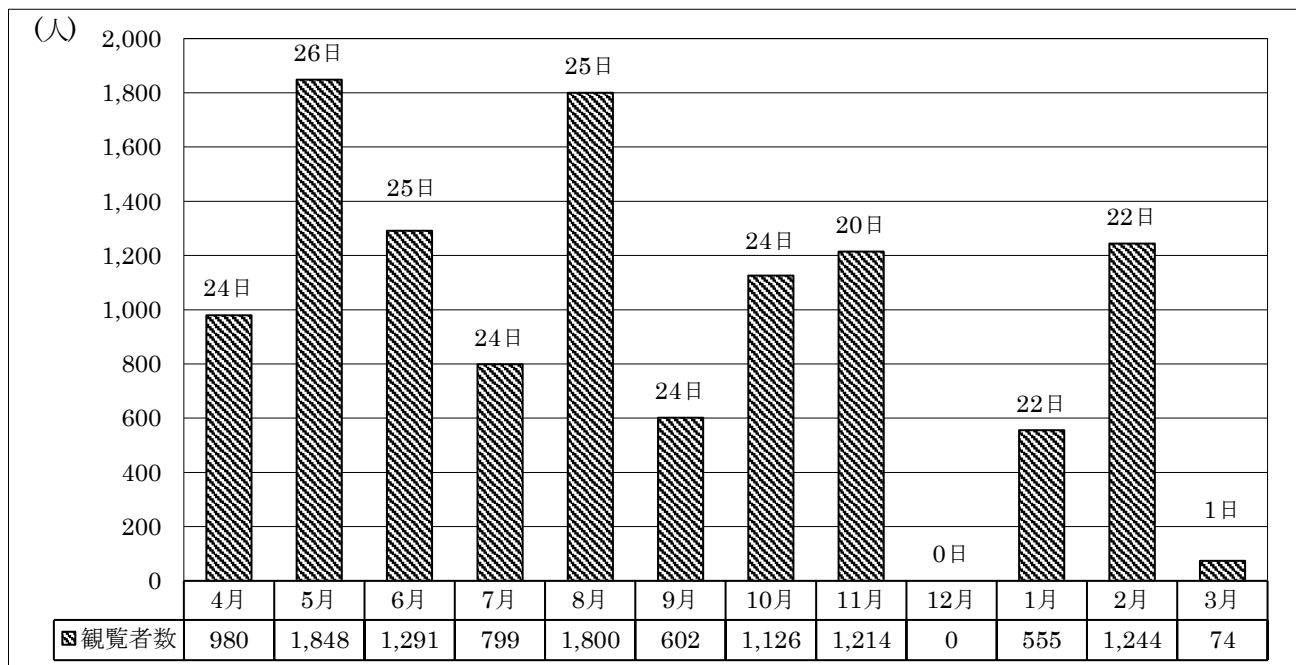
No.	貸 出 先	目 的	資 料 名	貸出日・期間
1	伊達150年物語の会	記念誌の挿絵で使用	仙道之図写真ほか 3点	7.1
2	一般社団法人 スタンドアップ亶理	荒浜ロック2019 会場で展示	亶理町の写真パネル 159点	8.13～9.1
3	一般社団法人 WATALIS	ワークショップで使用	手織機ほか 5点	8.21～9.6
4	株式会社いき出版	「写真アルバム仙南の 昭和」への掲載で使用	中町の通り写真ほか 10点	8.28
5	登米市歴史博物館	企画展で使用	伊達宗実和歌掛軸 1点	9.3～12.3
6	公益財団法人新宿未来創造財団 漱石山房記念館	特別展で使用	夏目漱石書掛軸及び写真ほか 65点	9.11～11.30

7	亘理保育所	稲の脱穀で使用	足踏み脱穀機 1点	10.9～10.11
8	亘理郷土史研究会	文化祭で展示	東日本大震災写真パネル 78点	10.29～11.3
9	個人	趣味	郷土資料館写真ほか 4点	11.16
10	株式会社いき出版	「写真アルバム仙南の昭和」への掲載で使用	常磐線亘理駅写真ほか 11点	11.29
11	亘理小学校教諭	「理科教育のあゆみ」表紙掲載で使用	化石 9点	12.1～12.22
12	株式会社 ミヤギテレビサービス	「発見！宮城のスマイルさん」番組内で使用	蚕の飼育写真ほか 10点	R2.3.12

6 観覧者数の推移

〔1〕 令和元年度月別観覧者数

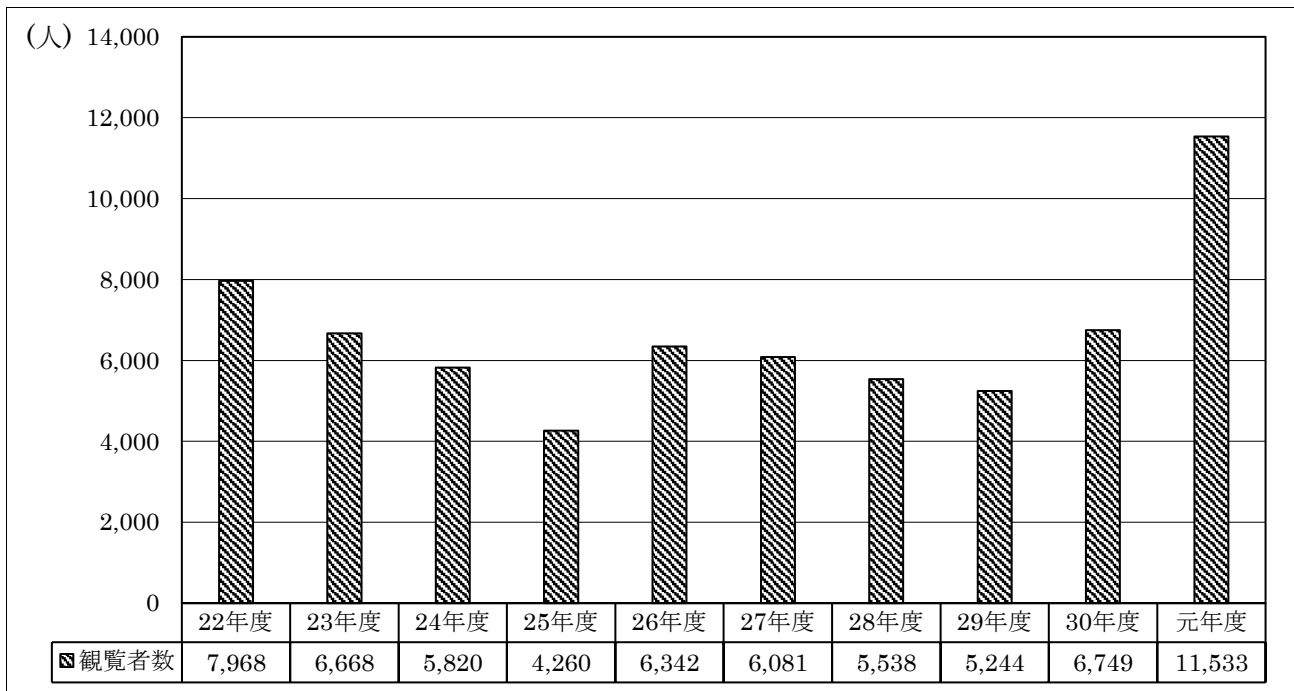
総観覧者数：11,533人（開館日数：237日 1日平均49人）



〔2〕 年度別観覧者数

開館からの観覧者累計：203,013人

平成22年度～令和元年度観覧者数の推移



7 予算

郷土資料館費

予算額 10,605,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

8 職員名簿

【平成31年4月1日～令和2年3月31日】

職 名	氏 名	就 任 期 間	備 考
館 長	渡 辺 壮 一	H30. 4. 1 ～ R 1. 10. 31	
〃	片 岡 正 春	R 1. 11. 1 ～ R 2. 3. 31	生涯学習課長兼務
文化財班長	菅 野 達 雄	H 6. 4. 1 ～ R 1. 7. 4	学芸員(在職中逝去)
班 長	武 田 恵 美	R 1. 10. 1 ～ R 2. 3. 31	学芸員
主 幹		H24. 4. 1 ～ R 1. 9. 30	
主 幹	鈴 木 朋 子	H18. 10. 1 ～ R 2. 3. 31	学芸員
主 事	橋 本 和 樹	R 1. 10. 1 ～ R 2. 3. 31	

〔1〕 開館時間

〔2〕 休館日

- ### 〔3〕 観覧料

- #### 〔4〕 位置図



亶理町立郷土資料館年報 第22号
令和元年度

令和2年7月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地
TEL (0223) 34-8701
FAX (0223) 34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
